

「研究倫理教育プログラム」

2014年7月29日(火) 14:00~17:00 定員 300名(事前登録制・参加無料)

科学と科学研究は社会と共に、そして社会のためにある。このため、研究者が主体的かつ自律的に研究活動を進めるためには、社会の信頼と負託を得て科学の健全な発達を進めることが求められる。つまり、科学がその健全な発達・発展によってより豊かな人間社会の実現に寄与するためには、研究者がその行動を自ら厳正に律するための研究倫理を確立する必要がある。

もちろん、すべての科学研究に当てはまる普遍的な方法は存在しない。研究倫理を確立するための具体的な方法は研究分野によって異なる。しかし、それでも、各分野の研究を行う上での研究倫理を考える際に、すべての研究者が共通して持つべき価値観がある。こうした認識の下に、研究者個人の自律性に依拠する、すべての分野に共通する必要最小限の研究倫理には、研究者の責務、公正な研究、法令の遵守が含まれる。こうした目的のために、この度、様々な分野に共通する研究倫理を教育するための標準的なプログラムを作成したので、本学術フォーラムで公開するとともに、皆様からのご意見を伺い、より良いものにしていくことができると考えている。

会場 **日本学術会議講堂** 東京都港区六本木 7-22-34
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5番出口徒歩1分

主催 **日本学術会議**
文部科学省
独立行政法人科学技術振興機構
独立行政法人日本学術振興会



プログラム

開会挨拶	14:00-14:10	大西隆 (日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長)
趣旨説明	14:10-14:20	浅島誠 (独立行政法人日本学術振興会理事、日本学術会議連携会員)
報告	14:20-14:30	川上伸昭 (文部科学省科学技術・学術政策局長)
	14:30-14:40	渡邊淳平 (独立行政法人日本学術振興会理事)
	14:40-15:00	小林良彰 (日本学術会議副会長、慶應義塾大学法学部教授)
	15:00-15:30	市川家國 (信州大学特任教授)
	15:30-15:40	笠木伸英 (独立行政法人科学技術振興機構 首席フェロー、日本学術会議連携会員)
休憩	15:40-15:50	
ラウンドテーブル	15:50-16:50	松尾泰樹 (文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課長) 浅島誠 (独立行政法人日本学術振興会理事、日本学術会議連携会員) 市川家國 (信州大学特任教授) 相原博昭 (日本学術会議会員、東京大学副学長)
		司会：小林良彰 (日本学術会議副会長、慶應義塾大学法学部教授)
閉会挨拶	16:50-17:00	大竹暁 (独立行政法人科学技術振興機構理事)

■お申込み方法 下記URLよりフォームに必要事項をご記入の上お申し込みください。(参加無料)

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0051.html>

■問い合わせ先 日本学術会議事務局企画担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34 TEL 03-3403-6295